

日本技術士会近畿本部登録中国研究会主催 2019 第 2 回訪韓団概略報告

2019.6.5 訪韓団団長 掛田健二(衛生工学)

2018 年 11 月第 1 回訪韓団に続き、大邱(Daegu)市永進(ヨンジン)専門大学校(2 年制。2018 年 4 年制に一部転換)機械応用系列&韓日企業支援センター教授平野富夫工博・技術士のお世話で、第2回訪韓団を 5 月 15 日-18 日、9 名で大邱広域市・慶州市を訪問した。エアプサン関空直行便往復 19,530 円、空港 3 星ホテル 8,000 円/室泊、東横イン開業特価 3,800 円/室泊。一人当り総計 55,000 円。補助他がなければ 7 万円。

大邱広域市はソウル・釜山に次ぐ、人口 124 万人の第 3 の韓国南東内陸部の直轄市。GDP は 4.9 兆円で、日本の 12 位北九州市と同等。新羅旧都 慶州市に隣接し、KTX 高速鉄道で浦項市まで 30 分、プサン 1 時間、ソウル 2 時間。繊維業から発展、サムソン(三星)財閥祖業の地。主要産業は、自動車部品、先端機械・ロボット、水産業、先端生産の繊維ファッション産業で、先端知識産業を育成。ソウルの研究開発部門を一部移転、グリーンエネルギー・IT 複合産業を戦略産業に指定、先端医療複合団地と大邱テクノポリスを造成済み。過去の水質汚染からの復興確認として 2015 世界水会議を開催。韓国の水産業の中心へ。 日程は下記。

5/15 (水) 関西 KIX 12:50→大邱 14:20。永進専門大学校 注文式教育を視察。焼肉の歓迎夕食会。

5/16 (木) AM 永進専門大学校第 2 キャンパス、英語村訪問。市役所でサービス産業誘致の姜龍徳チーム長が出迎え、李勝鎬副市長を表敬訪問(下記写真)。フュージョン韓式料理の歓迎昼食会。PM 建設完了間際の水産業団地訪問、上下水処理評価装置を見学。大邱市が工場排水による水公害に苦しみ、現在の美しい都市へ転換させた努力に敬意。日本のノムラ DS を買収・ブランドを活用する自動車部品・工作機メーカーの DAESUNG HI-TECH (株) の工場で、20 年間で 50 倍に企業規模を拡大させた崔雨 GAK 会長の厳しい指導の下、完璧な 5S 活動の成果を見学。感心した。数年前に完成した先端工業団地、授業料無料の先端科学技術者養成研究所等、未見学先が多い。夕食は軽く麺類とマッコリ、ビール。

5/17 (金) 慶州市観光(大邱-慶州 バス 1.5 時間)。2000 年に世界遺産登録の慶州歴史地区(新羅王朝古墳が 23 基)・天馬塚・暁星台。人気店で豆腐鍋とチジミ昼食。仏国寺・石窟庵見学。夕食は韓国有数の漢方薬街にある薬膳「参鶏湯」専門店。鶏 1 羽に餅米と薬膳を詰めた姿に食が進まない方も居た。

5/18 (土) モノレール乗車と市場の見学。市場で昼食後 大邱 15:15 → 関西 16:40。帰国解散。

専門大学は技術系高等教育機関(職業大学)のひとつで 2-3 年制の理工系が主、中堅工業技術者の養成を主に徹底した実業教育を実施。大学校は 4 年制で理論中心の研究職養成(研究大学)。高校卒業後に男子は国民皆兵で 18 ヶ月従軍。退役後に専門大学に進学する学生も多く、20 才と 25 才以上が混在。

永進専門大学校は理系 7 系列、福祉・教育・国防 5 学科。1995 年に注文式教育(Customized Education: 企業の教育要求を徹底し、学生の実力を向上さす。20 名以上採用企業向け)を最初に採用、同方式が全国に拡大。教授の 60% は企業勤務経験者。財閥系企業への就職は狭き門、韓国産業の不況・就職者数減少により、日本企業向け就職を開拓中。3D プリンター、マシニングセンター、ソフト開発、回路製作実習。電気電系子は 4 年制、機械系は 2 年制と対応が別れている。

平野教授によれば、韓国の国富の 70% がソウルに集中、民有地の 90% が人口 1% の旧両班所有。姜チーム長は日本の技術伝統は 100 年、韓国は 30 年ゆえ、日本の投資を期待、が持論。

大邱市の見学すべき企業・場所は多い。(終)

